様式第五十の次に次の二様式を加える。

様式第50の２（第57条関係）

通信の秘密の漏えいに関する報告書（詳報）

年　　月　　日

総務大臣　殿

郵便番号
（ふりがな）
住　　所
（ふりがな）
氏　　名（自筆で記入したときは、押印を省略できる。法人にあつては、名称及び代表者の氏名を記載することとし、代表者が自筆で記入したときは、押印を省略できる。）　　印
登録年月日又は届出年月日及び登録番号又は届出番号
連 絡 先（連絡のとれる電話番号等を記載すること。担当部署等がある場合は、当該担当部署名等を記載すること。）

発生年月日及び時刻		復旧年月日及び時刻	
発生場所			
発生状況			
発生原因			
措置模様			
再発防止策			
通信の秘密の漏えいに係る電気通信設備の概要			
通信の秘密の漏えいに係る電気通信設備への対策を確認した電気通信主任技術者の氏名（自筆で記入したときは、押印を省略できる。）	印		

注１　「措置模様」の欄は、利用者への対応を含め記載すること。
２　電気通信主任技術者の氏名は、法第45条第１項ただし書の規定により電気通信主任技術者を選任しない場合は、電気通信主任技術者規則第３条の２第１項又は第２項の規定により配置する者の氏名を記載すること。
３　電気通信主任技術者の氏名は、電気通信主任技術者の選任を必要としない場合又は電気通信主任技術者の監督の範囲外で発生した場合は、記載を要しない。
４　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とすること。

様式第50の３（第57条関係）

重大な事故報告書（詳報）

年　　月　　日

総務大臣　殿

郵便番号
（ふりがな）
住　　所
（ふりがな）
氏　　名（自筆で記入したときは、押印を省略できる。法人にあつては、名称及び代表者の氏名を記載することとし、代表者が自筆で記入したときは、押印を省略できる。）　　印
登録年月日又は届出年月日及び登録番号又は届出番号
連 絡 先（連絡のとれる電話番号等を記載すること。担当部署等がある場合は、当該担当部署名等を記載すること。）

発生年月日及び時刻		復旧年月日及び時刻	
発生場所			
事故の原因となつた電気通信設備の概要			
発生状況			
措置模様（事故対応状況）			
発生原因			
再発防止策			
利用者対応状況			
事故の対策を確認した電気通信主任技術者の氏名（自筆で記入したときは、押印を省略できる。）	印		

注１　「発生場所」の欄は、当該事故の原因となつた電気通信設備の設置場所（住所・建物名等）を記載すること。
２　「事故の原因となつた電気通信設備の概要」の欄は、当該設備の名称等を記載し、当該設備の役割が分かる設備構成図等を添付すること。
３　「発生状況」の欄は、当該事故が影響を与えた電気通信役務の概要説明及び影響利用者数を記載するとともに、影響を与えた地域を記載又は影響範囲の地図等を添付すること。なお、当該事故が断続的に発生したこと等により記載内容が時間によつて変化した場合は、それぞれの内容を記載すること。
４　「措置模様」の欄は、当該事故の発生時、認知時、復旧作業経過、後日対応等に応じた措置模様を、日時とともに記載すること。